



リバイバル行事

入居者様の生活を彩るサークル活動やレクリエーションに力を入れているアウルでは、参加の人数や反応を見ながら内容を随時見直しています。今春、新しい入居者様が増えたことを機に、過去の行事がいくつか復活しました。

月例だった映画上映会は約2時間見続けられる方が減って休止状態でしたが、この3月に『最高の人生の見つけ方』で再開。主演の吉永小百合さんと天海祐希さんが余命宣告を受けて旅に出るお話は、鑑賞後に皆さんが感想を口にしたくなるほどの良い刺激となりました。

5月には行事2つが復活。コロナ禍と茶道を



たしなむ方の参加減で中止していたお茶会は、茶道経験者のご入居で再開し好評です。トランプやかるたで遊ぶカードレクは、懐かしい遊びで皆さんが童心に帰り、大いに盛り上がりました。



可愛がる入居者様
「昔、犬を飼っていたね」とリリコを

スタッフ リレーエッセー

湯の街から来ました

北海道の登別温泉は歴史の古い、美しい温泉地です。泉質が9つと多く、効能もさまざまで、「温泉のデパート」と呼ばれています。観光の目玉は「地獄谷」で、硫黄の匂いが漂い、湧出口から立ち上る湯煙が幻想的な雰囲気を醸し出しています。



介護職員 小松 紀仁

地獄谷には、かつて人々を苦しめ悪さを重ねる鬼たちがいたとされています。蝦夷の神から天界の恵みである薬湯を守れとの命を授けられて以来、鬼たちは「湯鬼神」となり、夏の八十八夜、時津風が吹く時に、無病息災・開運招福を願い、太鼓を打ち踊ったと伝えられています。

私はこの湯の街から来ました。私の生まれ故郷・登別に行かれる際は、湯あみと共に、このような伝説を想像しながら温泉街に点在する鬼の像探しを楽しんでみるのもお勧めです。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)
アウルコート真駒内
〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関 ●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)
アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ニュースを楽しむ

代表取締役 武田 治信

今年の札幌の桜は、昨年次ぐ2番目に早い開花だったとのこと。アウルコートの中庭の桜も雪解けとともに一斉に咲き誇り、しばらくの間、入居者様と一緒に観桜のひとときを満喫いたしました。

さて、新型コロナウイルスが5類に移行されてから1年がたちました。感染者の減少が続いていることを受け、アウルコートでも少しずつですが面会や外出の制限を緩和できるようになり、ホッとしています。ゴールデンウィークのラウンジには、久しぶりの再会を喜び合う入居者様やご家族の笑顔が溢れていました。ご家族の来訪が多いというアウルコートの日常を久しぶりに体感し、心温まる黄金週間となりました。

早いもので今年もう後半です。7月3日には日本の紙幣・日本銀行券が20年ぶりに改刷され、

同月には東京都知事選挙が予定されています。9月に岸田総理が任期満了を迎え、11月はアメリカで大統領選挙が行われます。

札幌オリンピック2030年の招致を断念したニュースは記憶に新しいところですが、7月8日開催のパリオリンピックでは、パリ中心部を流れるセーヌ川を舞台に行われる開会式や、追加種目として新たに採用されたブレイキン(ストリートダンス)に注目が集まりそうです。大谷翔平選手が、松井秀喜氏が持つ大リーグの日本人ホームラン記録175本を抜いてどこまで記録を伸ばすのかにも興味津々です。

世界からは心を痛める戦火の報が届くことも多い昨今、暮らしやスポーツの身近なニュースをお茶うけにご家族と交流するような、穏やかな時間が続きますようにと祈るばかりです。

レク専従職は アウルならではの

ギターの弾き語りや似顔絵描き、ゲームの自作と、本誌の行

事報告でもおなじみの阿知良透係長は、老人ホームの人員基準にはないレクリエーション専従の職員です。開設時からレク委員会でも活躍していましたが、入居者様の状態に合わせて内容

を丁寧に調整できるよう、2015年にアウルが独自に設けたポストに着任。以来、楽しみながら自立維持の効果も期待できる、ユニークなレクづくりに知恵を絞っています。



月例の脳トレ「寺子屋」

オリジナルのクイズや指体操などで脳を刺激



月例の音楽レク

童謡から懐メロまで幅広い曲目を拍子を取りつつ合唱

参加を促す 多彩な展開

「皆様ができるように。でも、簡単すぎでは面白くないので、難易度を上げたものも何段階か用意します」と企画立案の配慮を披露。興味を持ってもらえるように好みをリサーチし、昔話だけでなく最近の話題も取り入れているそうです。「入居者様は音楽好きで、クラシックファンが多め。音楽は認知症予防にも効果的とのことなので、今後も採り入れていきたいです」と構想を語ります。

大変なのは、その日の気分が参加人数が激変する点。「いつ

までも自立したADL（日常生活動作）が維持できるような生活支援を心掛けています」と話す阿知良係長は、バリエーションの拡充や興味をひく声かけで参加を促して、ひとりでも多くの方に頭や体を使う楽しい時間を提供したいと考えています。

だからこそ、「普段参加しない方に『来てよかった』と笑顔で喜んでもらえると、やりがいを感じます」と自らも笑顔に。

今年は専従となって10年目。喜びを糧として、入居者様を笑顔にする企画力に阿知良係長はさらに磨きをかけています。



月例のテレビ上映会

話題の人を取り上げた独自編集のビデオを上映



自立を支える企画で笑顔に レクリエーション専従職員に聞きました



アウルの四季彩々日記



●5/1(水)・2(木)

待望のお花見ドライブ

桜の名所・森林総合研究所北海道支所へのドライブは、雨天中止を経て、見ごろギリギリに催行。初めて訪れる方が多く、外出行事も久しぶりだったので、お花見への道中から車窓を眺めてのお喋りに花が咲きました。

●4/2(火)・4(木)・5(金)

丼物の初テイクアウト

テイクアウトの日に「なか卯」が初登場。一番人気はカツ丼で、親子丼や牛すき丼の注文もあり、どれもボリューム満点でした。店屋物の定番ながら、普段の食事とは違う丼物がランチタイムを新鮮に演出してくれました。



●3月～5月

きれいに咲いた胡蝶蘭

昨秋に新たに仲間入りされた入居者様に、ご家族から入居祝いの胡蝶蘭が届きました。温室に置かれた鉢は、3月に再び開花し、5月になっても美しい花が楽しめました。生育に適切な環境と入居者様のお手入れの賜物です。



▲羽を広げた蝶のようなかたちから和名が「胡蝶蘭」に。花言葉「幸福が飛んでくる」も蝶のイメージに由来